

軟式野球運営ポイント

【一般軟式県大会 7回戦試合】

日本スポーツマスターズ、全日本シニア、日本スポーツマスターズ、
全日本シニア、高松宮&東日本1次予選会

県大会運営ポイントを競技者必携2026から抜粋して
より具体的にまとめたものです。

一般社団法人 石川県軟式野球連盟

目 次

§ 1 注意事項

項 目	本資料頁	全軟必携頁
1 球場開門	1	33－1
2 連盟担当者集合	1	-
3 チーム到着・大会本部挨拶・打順表受領	1	34－5
4 参加申込書確認	1	33－3
5 ベンチの割り当て	2	33－4
6 ベンチに入れる人員	2	34－6
7 打順表の提出・チェック	2	34-7
8 攻守の決定	3	34-7
9 シートノック	3	35-8
10 サイドノック	3	35-9
11 試合開始前練習1（第一試合のみ）	4	35-11
12 試合開始前練習2（第二試合以降）	4	36最上段
13 球場内バッティング練習	4	35-10
14 ベンチ内使用物	4	36-16
15 試合開始予定時刻になっても到着しないチームの取り扱い	5	37-19
16 次のイニングに投げる投手のベンチ前練習	5	37-21
17 ブルペンでのキャッチボール	5	37-21
18 選手交代の申し出	5	36-13
19 抗議権を有する者	5	41-5

目 次		
§ 2 特別規則		
項 目	本資料頁	全軟必携頁
1 <u>正式試合（試合成立）</u>	6	38-1,29
1 <u>正式試合（得点差コールド）</u>	6	38-1(4)
2 <u>延長戦</u>	6	39-2
3 <u>タイブレーク方式</u>	6	39-3

【一般軟式県大会 7回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・ 高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 1 注意事項	具体的内容	実施者	必携頁
1 球場開門	第一試合開始予定時間の 90分前	球場管理者	33-1
2 連盟担当者集合	第一試合開始予定時間 90分前 に集合して朝礼を行う	連盟担当者	—
3 チーム到着・大会本部挨拶・打順表受領	試合開始予定時刻の 60分前までに 球場に到着して大会本部に到着報告し打順表を受け取る。 連盟担当者は打順表を記載したら速やかに本部に提出するよう依頼する	チーム 連盟担当者	34-5
4 参加申込書確認 (登録原簿)	野球ネットで大会参加申込(登録原簿)実施後は、選手の追加・変更および背番号の変更は認めない。 ※県としてどうするかを決める ※日本スポーツマスターズ参加資格 年齢基準: 大会開催年度の4月1日時点で、 満40歳以上 であること。 登録要件: 所属する都道府県の軟式野球連盟にチームおよび個人登録が完了していること。 地域要件: 原則として、チームまたは選手が該当する都道府県内に在住または在勤していること。 ※全日本シニア参加資格(全軟連盟規定第6条第2項) 年齢基準: 大会開催年度の4月1日時点で、 満50歳以上 であること。 登録要件: 所属する都道府県の軟式野球連盟にチームおよび個人登録が完了していること。選抜チームでもよい。 地域要件: 原則として、チームまたは選手が該当する都道府県内に在住または在勤していること。	連盟担当者	33-3

※日本スポーツマスターズ公認指導者資格
全国大会のみ：チーム内の監督・コーチ等最低1名

※7回戦試合部分：黄色塗りつぶし

【一般軟式県大会 7 回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・ 高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 1 注意事項	具体的内容	実施者	必携頁
5 ベンチ	組合せ若番チームが一塁側、ただし1チームが続けて試合を行う（ダブルヘッダー）ときは入替しない	連盟担当者 トス時に通達	33－4
6 ベンチに入れる 人員 (関連項目4) 日本スポーツマスターズ	登録選手20名以内 （項番4登録原簿）および 登録スタッフ （ユニフォームを着用した 専任監督 30番、専任コーチ29番・28番）とチーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。 最大27名 ※ただし、登録スタッフが選手として兼務する場合は登録選手20名以内に含めなければならない	チーム	34－6
6 ベンチに入れる 人員 (関連項目4) 全日本シニア 高松宮2部&東日本2部 1次予選会	登録選手25名以内 （項番4登録原簿）および 登録スタッフ （ユニフォームを着用した 専任監督 30番、専任コーチ29番・28番）とチーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。 最大32名 ※ただし、登録スタッフが選手として兼務する場合は登録選手25名以内に含めなければならない	チーム	34－6
7 打順表の提出・ チェック (関連項目3・4)	打順表（登録された選手全員を記入したもの）は項目3で受領後速やかに記載して提出し大会本部のチェックを受ける	チーム（監督または主将） 連盟担当者	34-7

※7回戦試合部分：黄色塗りつぶし

【一般軟式県大会 7回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・ 高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 1 注意事項	具体的内容	実施者	必携頁
8 攻守の決定 (関連項目7)	第一試合：開始予定時刻の30分前 第二試合以降：前の試合の4回終了時 登録原簿とのチェックOKの後、監督または主将が球審立会いのもと決定する。その際、チームへの注意事項・依頼事項を伝達する。 ※第2試合以降は4回終了時にトスをし次の試合の先発バッテリーが球場内ブルペンを使用するため	チーム（監督または主将） 連盟担当者 球審	34-7
9 シートノック	時間は5分間（後攻チームより行う） 補助員（ダートサークルに留まる・出入りする）はヘルメットの着用を義務付ける ノッカーは選手と同様のユニフォームを着用する 捕手はプロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・ファウルカップを着用する ※県大会は原則シートノックは行わない。行う場合は攻守決定時に通知する	チーム （ユニフォーム着用者） 連盟担当者	35-8
10 サイドノック	シートノックの有無にかかわらずサイドノック・外野サブノックを認める 内野手：ベンチ前、塁間程度の距離でゴロ捕球練習を行う 外野手：一塁・三塁後方のファウルテリトリーから外野方向へ安全に行う ノッカーにボールを手渡す選手、野手からの送球をノッカー付近で捕球する選手、外野手からの送球を中継する選手はヘルメットを着用する	チーム （ユニフォーム着用者）	35-9

【一般軟式県大会 7 回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・ 高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 1 注意事項	具体的内容	実施者	必携頁
11 試合開始前練習1 (第一試合のみ)	第一試合出場チームの選手のみ 練習エリア：外野エリアのみ 練習服装：アップ用の服装（同一が望ましい） 正式ユニフォーム着用：打順表提出（ 攻守決定時 ） ※県大会ではコールドゲームで次の試合まで時間が空く場合は許可する場合がある	チーム (アップ用服装者・ユニフォーム着用者)	35-11
12 試合開始前練習2 (第二試合以降)	前の試合終了後、次の試合を開始するまでの時間は 20分 です。（次の試合の開始時間を通知します） 前の試合の終了挨拶の間にグラウンドに入り、ベンチの外野寄りに用具を置きキャッチボールを行う ※県大会シートノック無の場合 キャッチボール5分、トスバッティング5分、サイドノック5分、グラウンド整備5分が原則 ※県大会シートノック有の場合 キャッチボール5分、後攻ノック5分、先攻ノック5分、グラウンド整備5分	チーム (ユニフォーム着用者)	36 最上段
13 球場内バッティング練習	トスバッティングのみ認める ※第一試合のチームが該当する ※第二試合以降のチームが該当する場合は全員正式ユニフォーム着用のこと	チーム (アップ用服装者・ユニフォーム着用者)	35-10
14 ベンチ内使用物	電子機器類（携帯電話・パソコン類）は使用禁止 電子スコア記録用として1台の使用を認める 指示用メガホン：ベンチ内に限り1個使用を認める	チーム (補助員等)	36-16

【一般軟式県大会 7 回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・

高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 1 注意事項	具体的内容	実施者	必携頁
15 試合開始予定時刻 になっても到着しないチームの取り扱い	原則として棄権 ※連盟として特別な事由がない限り棄権とする ※理事会で次年度の取り扱いを協議して通知する	チーム	37-19
16 次のイニングに投 げる投手のベンチ前 練習	ベンチ正面でのキャッチボールは禁止 コーチスボックス外野側角からポール方向の外野エ リアで軽いキャッチボールは認める	投手	37-21
17 ブルペンでの キャッチボール	2組4名以内を認める。 ※5回終了時の次の試合攻守決定以降は次試合先発 バッテリーに使用を認める	選手	37-21
18 選手の交代	監督がタイムをかけ球審に申し出る	監督・球審	36-13
19 抗議権を有する者	監督か当該プレーヤーのいずれか1名	監督・当該選手	41-5

【一般軟式県大会 7 回戦試合】

日本スポーツマスターズ・全日本シニア・ 高松宮賜杯2部1次予選会・東日本2部1次予選会

§ 2 特別規則	具体的内容	実施者	必携頁
1 正式試合 (試合成立)	試合成立：7 回戦ではあるが降雨、暗黒などで進まなくても 5 回を終了すれば成立する ※最終均等回の得点とする	大会本部 審判員	38-1 29
1 正式試合 (得点差コールド)	全日本シニアに限り 5 回以降7点差 ※県大会の適用を決める	大会本部 審判員	38-1(4)
2 延長戦	7 回を完了して同点の場合、8 回より タイブレーク方式 により勝負を決する ※県大会もすべて準ずる	大会本部 審判員	39-2
3 タイブレーク方式	継続打順、前回の最終打者1塁走者、その前の打者2塁走者 ノーアウト1塁2塁で1イニング行い勝負を決する 勝負が決しない場合は、更に継続打順で繰り返す	チーム	39-3

※7回戦試合部分：黄色塗りつぶし